

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合報

第81号

射出成形の技能検定・日程決る

—— 新しく金型製作と射出成形特級も

新年度の岐阜県の技術振興対策

岐阜県下のプラスチック成形加工業の見通し

試験場で技術奨励補助対象企業を募集

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより

技能検定実施20周年で受けました感謝状

全日本プラスチック成型工業連合会

会長 城戸剛一郎

昭和六十三年二月二十六日

貴組合は多年に亘り業界の振興に尽力されると共に技能検定制度の普及に積極的に取組み業界の発展と本制度を推進に寄与されました功績は多大であります
ここに技能検定実施二十周年にあたり記念品を贈呈し深く感謝の意を表します

感謝状

岐阜県プラスチック工業組合殿

企業発展は人材育成から

射出成形の技能検定・日程決まる

申請は4月8日まで、工組事務局で

産業技術の急速な進歩を背景に従業員の能力開発の必要性が高まっている中で、昭和63年度の「技能検定」が今年も始まる。岐阜県職業能力開発協会から前期の技能検定としてプラスチック成形（射出成形）1級、2級の事務委託を受けている当工業組合は、4月1日から8日まで、組合事務局で受検申請を受け付ける。

また、今年度から後期の技能検定として①「金型製作」（プラスチック成形用金型製作作業）の1級、2級②プラスチック成形（射出成形）の特級一の二つの検定が新しく加わり、技能検定制度はますます充実することになる。

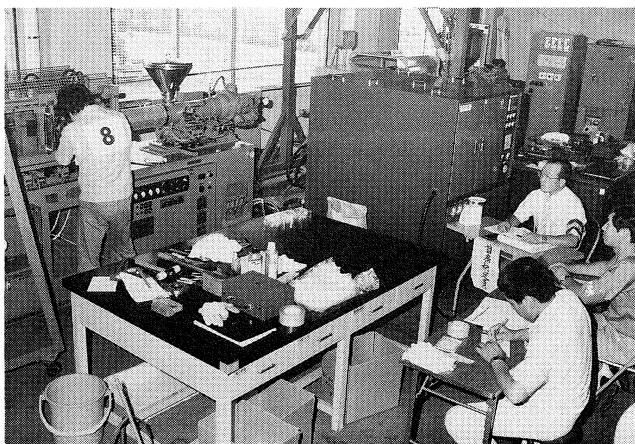
7月上旬に特別講習会

前期・技能検定として今年も実施されるプラスチック（射出成形）の検定は、4月1日から工業組合事務局で受検申請を受付開始、同8日（厳守）に申請を締め切る。受検料は1級、2級とも実技1万2千500円と学科2千300円。他に特別講習会費用として組合員1万円、員外は2万円が必要。

特別講習会は7月上旬に、岐阜県工業技術センターで二日間にわたって行う。この講習会は検定中に人身事故や成形機・金型を破損防止すると、より多くの受検者に合格してもらうために実施する。

実技試験は7月、学科は8月に

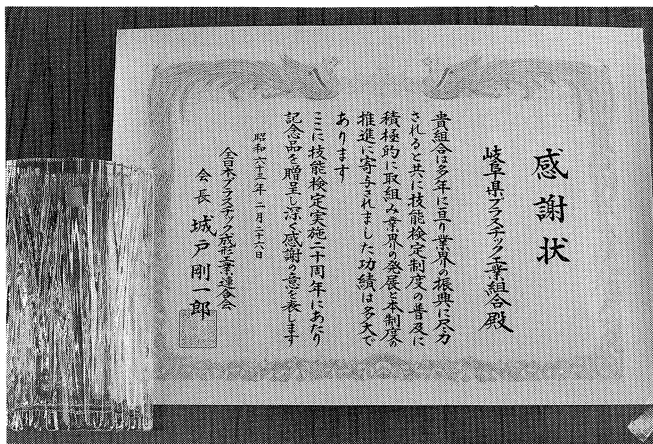
技能検定は、実技試験が7月中旬から下旬にかけ、工業技術センターで1日間行う。さらに学科試験は8月28日（日）岐阜大学で行う。



昨年度実施した技能検定。県工業技術センター

合格発表は10月7日（金）で、受検者に直接通知される。なお、検定問題の公表は受検資格が確定した後、組合から郵送で連絡する。

プラスチック成形の受検は年々増加する一方で、昨年度は1級、2級とも64人が申請し44人が実技試験を受けた。これはかつてない記録的な数字である。しかし、合格率は低く、昨年はとくに厳しかった。岐阜県内の技能士は、累計で1級5人、2級98人である。



技能検定実施20周年記念式典で受けた感謝状と記念品

全日本プラスチック成形工業連合会、プラスチック成形技能検定協議会の主催で技能検定実施20周年記念式典が東京で開かれ、席上工業組合は『感謝状』を受けた。
また、岐阜プラスチック工業、ムトー精工も表彰された。

技能検定実施20周年の記念式で工組へ感謝状

「金型製作」と「射出成形の特級」

新しく後期の技能検定に加わり実施

新年度から、新しく実施される「金型製作」（プラスチック成形用金型製作作業）の1・2級技能検定は、10月3日から受験申請の受け付けが始まる。

実技試験は12月2日から64年3月までに揖斐郡大野町にある岐阜職業訓練短期大学校で行う。学科試験は64年1月末から2月にかけての日曜日で、会場は岐阜大学で行い、合格者の発表は64年3月24日に予定される。

実技試験問題は11月25日に公表されるが1級は、試験時間4時間で、プラスチック成形用金型として必要な作業要素（テーパ穴加工、アール加工、溝加工等）を盛り込んだ課題を立てフライス盤と手加工で製作する。

また、2級は、プラスチック成形用金型として必要な作業要素（テーパ穴加工、アール加工、溝加工等）を盛り込んだ課題（1級課題の一部角度などを変更したもの）を盛り込んだ課題を立てフライス盤と手加工で製作する。試験時間

は2級が3時間30分である。

なお、この金型製作はプラスチック工業組合が、岐阜県金型工業組合の協力（講習会講師や検定委員の派遣）を得て、受け付け事務をはじめ検定の取りまとめを行う。

特級射出成形は管理的職種が対象

特級プラスチック成形は、機械加工など5業種とともに後期に実施される。受験資格は1級検定の合格後5年を経過した人だけが対象で、管理的職種を検定する。

検定内容は成形実技はないが①作業指導についてのビデオ映像により指導案の改善を行う②不良品のプラスチック容器の判定を行う一の要素試験を合計55分間で行う。

学科試験は2時間20分で、工程管理、品質管理、原価管理、設備管理などについて行う。

全国でも初めての特級技能検定だけに詳細は今後、決定される。

ハイテク化、ハイタッチ化を推進

新年度の岐阜県の技術振興対策 新素材など新産業を育成

岐阜県の昭和63年度施策がスタートする。そのうち商工業対策に焦点を当ててみると、①産業構造のハイテク化、ハイタッチ化の推進②経済環境の変化に適応する地場産業の振興対策の推進③商店街の活性化と商業の振興④雇用環境の変化に即応する労働対策の充実一を施策の重点としている。

なかでもハイテク化、ハイタッチ化の推進は、県庁内に新産業対策監を設置して情報、バイオ、新素材、航空宇宙などの新産業を育成、振興し、地場産業のリフレッシュを図るほか、中小企業の新技術・新商品の開発、事業転換を支援していく。次は岐阜県の中小企業対策のなかでも技術振興対策に焦点をあててみた。

組合や団体の開発、研究に補助

地場産業構造改善推進事業＝特定中小企業者事業転換対策等臨時措置法に基づく指定業種に属する組合団体が行う新商品、新技術開発、人材養成、需要開拓事業に対する助成。6団体を予定。

地場産業技術高度化対策事業＝産地組合が実施する新技術・革新技术の開発・導入に対し助成する。補助対象はエレクトロニクス、バイオテクノロジー、新素材関連の技術などで、2組合を予定。

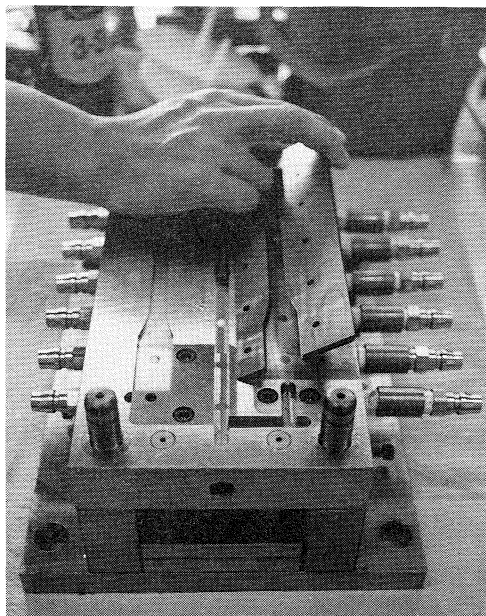
中小企業の技術者を委託し養成

ニュービジネス懇談会開催＝社会のニーズに応えるため技術、経営の専門化及び研究開発に積極的な企業の代表者を集め、互いに持っている知識の融合化を図る。委託先は県中小企業振興公社。

加速的技術開発支援事業＝特定地域中小企業事業転換の円滑化、新分野の開拓を図るため、地域中小企業に対する技術指導（150日）転換技術（5テーマ）共通基盤的技術（5テーマ）の開発を推進する。

技術パイオニア養成事業＝自ら創造的な研究開発事業を行う技術者を地場産業に密着した形で養成する。ORT事業は、試験場が行う先端技術の開発研究に中小企業の技術者（20人）が参加、養成（6か月）する。

また、先端技術研修は、ハイテク技術の裾野を広げるため技術者研修（6課程、20人、36時間）を行う。



CAD/CAMによる積層金型の製造研究

「地域融合化センター」を設置

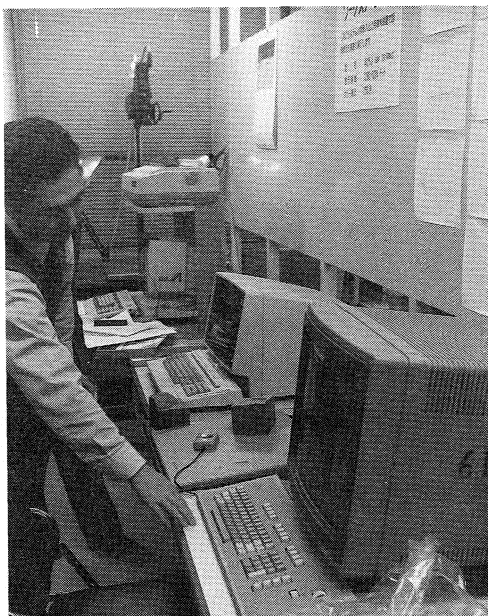
新産業育成対策事業＝産官の協力体制のもとで、新産業分野における今後の展開方向と構すべき施策の検討を行い、県経済の発展を図る。

異業種グループ育成事業＝異業種グループ間の交流を助長し、企業間の融合化を促進するための事業に助成する。県中小企業振興公社が実施する。

技術交流研究会の開催事業＝異業種間の技術移転・技術交流、市場交流の促進を図るため研究会を開く。

地域融合化センター整備事業＝中小企業の融合化を促進、支援するため「地域融合化センター」を設置、交流・融合化の拠点施設とする。設置場所はシンクタンク庁舎。事業内容は光電子ファイルなどの備品購入、中小企業事業団からのカタライザー（世話役、まとめ役となる人材）の派遣。

融合化開発促進事業＝融合化開発事業計画の



技術開発研究の中心となる県の電算機

認定を受けた特定組合（1組合）が行う事業に対し助成する。

融合化組合集中指導事業＝融合化による新分野の開拓を促進するため中央会が行う、異分野中小企業者グループの組織化推進事業に助成する。

地場産業デザイン高度化特定事業＝地域中小企業者が共同で行う市場動向に即応したデザイン開発を推進し、開発能力の向上を図る。

技術アドバイザー事業＝豊富な知識と経験を有する技術専門家が、中小企業者の求めに応じて技術指導を行うことにより、新製品、新技術の開発を促進する。

アドバイザーは50人を配置し、197企業を指導する計画。

地場産業製品企画設計技術開発研究＝多品種少量生産に効率的な対応するため、コンピュータ支援による企画設計技術を研究する。

テーマは積層プラスチック金型に関する研究など7研究。

スーパー・エンブラの利用研究

素材特性と利用技術研究＝素材の特性を生かした加工技術によって、高度化を図り、利用分野を拡大する。

テーマはスーパーエンブラの成形加工技術に関する研究、複合系機械部品材料の品質評価研究、超電導材料に関する研究など6研究。

中小企業事業転換対策事業＝特定中小企業者事業転換対策等臨時措置法に基づく事業転換円滑化計画の承認を受けた組合などが行う、事業転換対策事業に助成する。5組合を予定。

特定地域中小企業新分野進出事業＝特定地域中小企業振興計画に基づき、特定組合が行う新分野進出事業に対し助成する。対象は関、多治見、神岡の3地域。

国内向け中心に好調な伸びへ

岐阜県下のプラスチック成形加工業の見通し

内需拡大を軸とする景気の回復が続き、このほど日銀がまとめた短期経済観測調査によると「製造業の業況は急速に改善、円高以前の水準に戻った」と判断している。それでは今後どのような景況が展開していくのだろうか、企業経営者の誰もが知りたいところである。

十六銀行の企画部では、このほど「63年の岐阜県産業動向見通し」をまとめた。内容は県下の主産業16業種を個別観測したもので『プラスチック成形加工』についての観測には大いに興味もたれるところである。次はその調査内容である。

全国、県内とも生産量は最高

【62年の実績】 景気回復の影響を受け、生産活動はほとんどの分野で活発となり県内生産量は前年比（1～9月累計）では5.1%となった。とくに機械器具部品は前年比20.2%増と大きく

伸ばした。

プラスチック成形加工業界では、58年以降堅調な生産・出荷動向が続き、61年の全国製品出荷量は前年比2.4%増

出荷量では1.9%増となり、いずれも過去最高を記録した。62年に入ってからには内需を中心に景気回復基調に転じたことを受け、前年同期比で5.6%と引き続き好調だった。

岐阜県下の製品出荷量は、全国ベースよりやや落ちるが準じた動きを見せている。

機械器具部品は二割もアップ

これを品目別に見ると、フィルムが前年同期比で0.9%の減少、日用品・雑貨は同2.1%増とほぼ横ばいとなった。

発泡樹脂製品は同じく7.2%増、機械器具部品は実に20.2%も増加し好調に推移している。

61年の年間出荷額は、原料樹脂の価格の低落から2,365億4,600万円とややダウンしたが、生産量は着実にのびている。

次に原料樹脂価格の動向を見ると、粗原料であるナフサが続騰したのに加え、国際的に需給

トン、%

年月	内訳		主要製品							
	生産量		フィルム		機械器具部品		日用品・雑貨		発泡製品	
	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比	前年(同月)比		
59	192,797	107.2	58,577	116.9	16,166	109.2	11,233	107.9	48,043	98.9
60	199,766	103.6	60,121	102.6	16,989	105.1	11,856	105.5	55,575	115.7
61	199,931	100.1	58,449	97.2	15,213	89.5	11,870	100.1	59,184	106.5
62. 1	16,914	106.8	5,328	92.5	1,311	120.2	904	104.9	5,345	122.1
2	16,370	107.3	4,402	92.9	1,376	110.9	1,014	115.5	5,273	124.3
3	16,608	103.2	4,883	98.2	1,366	113.5	960	98.8	4,903	113.1
4	17,207	104.3	4,271	92.5	1,433	118.0	1,026	111.6	5,607	117.3
5	17,235	101.9	4,935	96.8	1,363	113.7	1,032	106.1	5,063	103.7
6	17,152	100.1	4,746	107.1	1,594	130.1	1,058	99.6	4,613	84.2
7	17,488	105.7	5,220	105.3	1,544	126.6	1,093	121.2	4,513	97.3
8	16,764	104.8	5,242	110.4	1,505	133.7	966	105.1	4,434	82.0
9	17,755	112.2	4,873	98.2	1,571	116.7	645	62.7	5,623	134.9
1～9計	153,493	105.1	43,900	99.1	13,063	120.2	8,698	102.1	45,374	107.2

(注) 従業者40名以上の事業所 資料：岐阜県「生産動態統計速報」

がひっ迫したことから、4大汎用樹脂のうちポリスチレンが二次にわたる値上げを通じて約20%上昇したのを始め、塩ビ樹脂、ポリエチレン、ポリプロピレンも5~10%の価格上昇となった。が、円高影響から浸透はゆるやかだった。

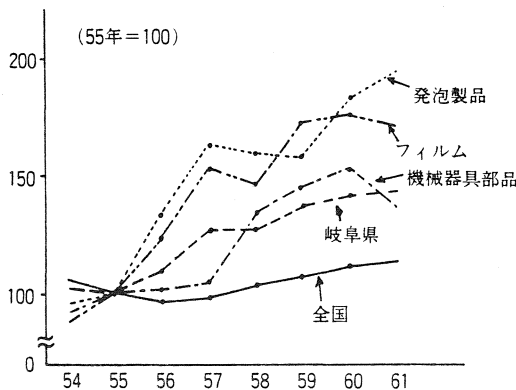
一方、製品価格については、原料樹脂の値上げに伴ない一部の製品に値上げが認められたものの、概ね横ばいの水準で推移した。

ただし、需要増により売上が着実に増加したため、総じて堅調な業績を確保できた。

機器、家電、車に伸びを期待

【63年の見通し】個人消費・住宅建設が引き続き好調なのに加え、設備投資も回復するなど

順調に伸びる岐阜県のプラスチック生産



資料：岐阜県「生産動態統計速報」

景気の足取りはしっかりしており、国内向けの需要を中心に生産・出荷とも好調に推移するものと予想される。

部門別では、機械器具部品は、家電・自動車向けを中心に需要は盛り上っており、高い伸びが期待できる。

日用品・雑貨は、市場自体は成熟しているものの、住宅建設の活況に伴う需要増も見込まれ、また、包装製品についても、個人消費が活発なことから引き続き底堅く推移しよう。

運搬用ケース、コンテナなどの産業用資材については、折りたたみ式コンテナなど物流合理化に伴い着実な増加が見込まれる。

次に、収益面をみると、原料樹脂の需給が引き続きタイトに推移することが予想されることから、共販各社は値上げ交渉において強気の姿勢をみせており、原料樹脂価格の上昇は避けられそうにない。

一方、製品価格については、こうした原料コストの上昇に見合うだけの引き上げを実施することはむつかしく、今後、各企業は生産合理化、不採算製品の見直しなどによるコストアップの吸収策を求められよう。

このような価格動向から採算面では、幾分厳しさがあるものの、売上増によるボリューム効果も期待でき、企業業績は総じて好調に推移しよう。

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11

名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号

化工機課 TEL <052> 561-8341

技術奨励補助対象を募集

「4月1日から各試験場で受け」

岐阜県商工労働部は、63年度の「中小企業技術向上奨励費補助事業」の対象企業を募集している。

中小企業が行う新技術・新製品、公害防止、省資源・省エネルギーに関する研究開発や試作に対して補助金を交付するもので、毎年5～6企業が指定を受けている。

応募手続きは4月1日から30日まで岐阜県工業技術センターほか県内5試験場で行う。補助率は、対象経費の3分の2以内で、補助額は1件あたり100万円から500万円まで。

提出書類は、過去2年間の財務諸表（貸借対照表、損益計算書）と事業計画書5通を提出する。県では5月中ごろまでに対象企業のヒヤリングのあと審査し、6月上旬に補助事業として採択するかどうかを決定する。

セラミックの成形研究へ

ファインセラ射出成形機を導入

岐阜県工業技術センターでは、62年度から3カ年事業として「ファインセラミックの射出成形技術研究」と取り組んでいる。

新素材開発利用技術の一つとして実施してい

ファインセラミック用の射出成形機
(工業技術センターに設置)



るもので、耐熱、耐摩耗性に優れた酸化物系ファインセラミックス（ジルコニア、アルミナ）の射出成形技術の確立を図るのが目的である。

関連産業の育成と人材の養成

その研究施設として、技術センターに「ファインセラミック用射出成形機」が新設された。機種は山城精機製作所のSV A-60-52型で、シリンダー・スクリーが耐蝕・耐摩耗性の高い材質でできているのが特色。

射出容量は44cc、射出圧力直圧52トッ・2,270 kg/cm²、スクリー径26ミリである。

技術センターでは、さらに原材料の混練技術射出成形技術、脱脂技術、焼成技術、加工技術などの技術データの蓄積により、地場産業に適した関連産業の育成と人材養成を図っていく。

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバデュール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

社長夫人の想い

今回は、デザインから少し離れた内容になるが、デザインが「利潤追求のためによかれと思われる方向に向けて戦略をたて実行することである」という基本的姿勢によって、その範囲をひろげ会社経営に腕をふるわなければならない「社長業」を見直す意味で紹介したい。

これは、千代田生命保険相互会社の資料であるが、従業員数20～150名の中小企業の社長夫人(400人)に聞いた社長の素顔とも言えるもので、これによる社長像は次のようになる。

平均年齢…50.1歳

学歴…大学卒が45.7%

高校及び専門学校卒が40.1%

世襲で社長になった人…29.5%

社長になった年齢…平均29.6歳

年収平均額…1千420万円

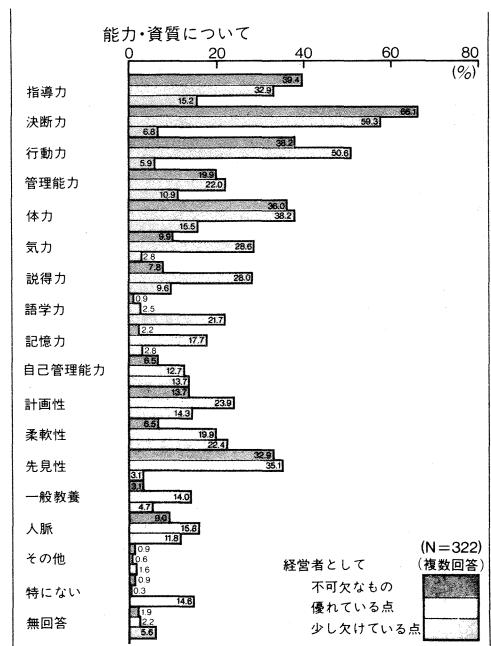
1カ月の小遣い…10万8千円

平均貯蓄額…2千410万円

夫人のへそくり…平均297万5千円

(サラリーマンの妻の平均22万5千円)

このように、日本の企業の大半を占める中小企業は、低成長・円高不況といわれる中においてまだまだがんばっているといったところだが今後さらにたいへんな時期を迎えるといわれ、会社の将来展望も簡単には予測がつかないような今日、最も身近な存在であり、よき理解者である社長夫人の見方もときには参考にして、初心にかえり、創意と工夫、そして行動力による企業経営を考え直したいものである。



(県工業技術センター 技術振興部)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

低密度ポリエチレン

高密度ポリエチレン

ポリプロピレン

カルブ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号(日土地名古屋ビル5F) 〒460 ☎052-231-8611

着色技術生かし新事業の開発へ

日石産業

今月の会社訪問は石原良美さんが経営する日石産業株式会社（海津郡海津町内記 194 番地、資本金 1,000 万円、従業員 17 人）を訪ねた。石原さんは女性経営者。60 年の末、主人の彰社長が病死され、その後を受け継いで社長に就任。まだ 2 年余のキャリア。といっても石原さんは創業した昭和 48 年いらい、工場生産を除いて経理面の全てを切り回してきたから、会社経営の実態はよく分っていたという。

女性経営者として猛勉強する

「実はあの頃、会社を続けるかどうかを非常に迷っていました。しかし、主人と一緒に働いてくれていた従業員のことを思い、会社の存続を決意しました」と二年前を振り返る。

そのとき、業界の知識を得ようと工業組合へまた、会社経営のあり方を勉強しようと中小企業家同友会へ入会、猛勉強を重ねてきた。円高

影響をもろに受けるプラスチック業界にあって企業の安定を図ってこれたのは、石原さんの努力というべきだろう。

円高以降、操業度ぐっと落ちる

工場は岐阜県の最南端・千本松原に近い津島一南濃線から南へ入ったところ。沼沿いの 5,000 平方メートルの広い用地に、ペレットの着色加工場、倉庫、事務所などが立ち並ぶ。工場には、6 基の押し出し機と 7 台の混合タンブラーが唸りをたてる。大日精化から受注するこのカラーリングは、創業いらい一貫して取り組んできた。

石原さんは「創業しばらくは、ペレットに顔料を混ぜ、再びペレットを作り納品するだけでした。しかし、近年は着色技術や品質管理が厳しく、それに円高以降は多品種少量生産となり操業度はグッと落ちました。また、成形加工と違って作業は単純ですが、納期の短いのと 24 時間のフル操業には苦勞の連続。主人は仕事に殉職したのです」としんみり話す。



前社長の遺志を継ぎ、経営に励む石原さん

後継者養成も仕事

創業した時の工場は、隣の平田町にあったが、50 年にこの海津町へ新工場を移し、ほぼ二年ごとに増設を続け、現在の規模へと成長した。しかし「将来は着色加工だけでは会社はやっていけない。主人の後を継ぐ工場長を育て、広い工場施設を生かした新しい事業を運営したい」と、石原さんは意欲を盛り上げた。

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□5月26日は工業組合創立記念式典□

工業組合は5月26日、岐阜市長良にある岐阜グランドホテルで創立20周年記念式典を開催いたします。この日は午前10時から昭和63年度総会、11時から来賓を招いて記念式典、12時30分からは記念パーティを行う予定で、現在、理事会及び準備委員会で最終的な行事内容を詰めているところです。組合員の皆さん、式典当日の企画について名案はありませんか。ご協力とご出席をお願いいたします。

□近く組合員・ガイド・ブック作成□

61年度から地場産業活性化対策事業を実施し本年度は、第二事業年度として「組合員事業所台帳となるデータベース・システムづくり」や「コンピュータ及びファクシミリ導入により情報収集と提供の即時化」などを事業化してきました。とくに事業所台帳の作成にあたっては、会員の皆さんからご協力をいただきました。こうした第二事業年度の集大成として、近く『組合員・ガイド・ブック』を作成し、関係業界へ配布いたします。

□車検のローンを利用してください□

工業組合は共済事業の拡充の一環として、ローン事業を強化しました。とくに従来の「県プラ自動車ローン」に加え、車検及びそのローンを始めました。車検価額は車の状況により異なりますので、車検標準価額表の会員特価のらんを参考に、提携先の日の丸興業へ問い合わせてください。車は指定場所まで引き取りにうかがい、車検が終わりしだい納車にあがります。支払いは現金の場合は翌月末まで組合へ振込むか、10回のローンを利用してください。ローンの場合は銀行口座より自動引落をします。

□金型整理にスライドラックあっ旋□

ダイフクと提携し、各種機器を割引購入しあっ旋しております。価格は35%引きです。

岐阜県のプラスチック 1988 81号

昭和63年8月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友TPE

合成ゴムSBR

住友SBR

合成ゴムEPR

エスプラン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店

〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)

電話 <052> 201-7571



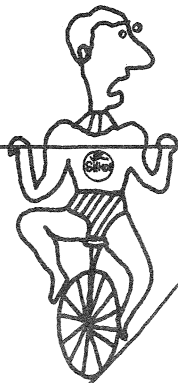
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、弊案のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたっては、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

では、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

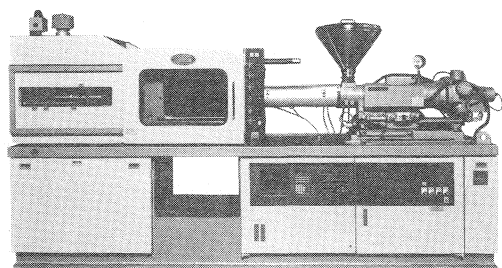
信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

射出成形を知りつくしたNISSEIだから 満足出来る高度ソフトいろいろ。

— 射出成形機づくり40年。先進技術で常に業界をリードし続けるNISSEI —
射出成形機を「精密産業機械」として位置づけ、あらゆるニーズに応える豊富な機種・システムが、各産業界から高い評価を得ています。しかも、ユーザーの皆さまの利益追求のために、長年の経験を生かし、射出成形をトータル的な視野でとらえ、多様化する成形加工の課題に挑みつつ、明日のプラスチック産業の発展にむけて、大きく前進しています。



NISSEI

プラスチック射出成形機・世界のトップメーカー

日精樹脂工業株式会社

岐阜出張所 〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷3-40番ビル1F ☎(0582) 72-5952

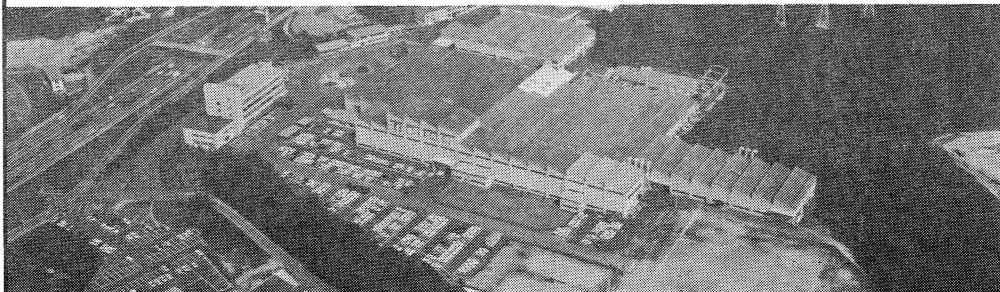
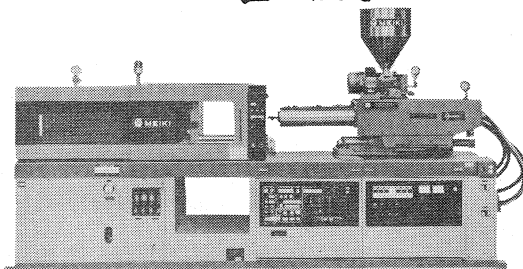
本社・工場/長野県坂城町南条2110 ☎(0268) 82-3000(大代表)

■東京事務所 ■営業所/西関東・東関東・大阪・名古屋・長野・東北・広島

■出張所/全国29ヶ所 ■海外サービスステーション 27ヶ所 19ヶ国

MEIKI の理想は名機です

プラスチック射出成形機の
専業メーカーとして、型締力35
トンの超小型精密機から
12,000トンのジャンボダイナに
至るまで、プラスチック射出成形
機一筋にかける情熱は、各種の
名機を業界へ送り出しています。



株式会社

名機製作所

本社・工場

愛知県大府市北崎町大根2 電<0562>48-2111

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

ゴモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂／板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂／射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321／大阪(202)2241／名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい
テーブルウェアの
たび だち
出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

^{PLU}
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮